

# (絵本) きんぎょがにげた くまぐみににげた？

みんなで同じ絵本を読んだり、保育者の膝に座って読んだりと絵本の読み聞かせの時間が大好きな子どもたち。最近では、簡単なストーリーを理解して次のページは何だろう？と見て楽しんでいる子もいます。先日「きんぎょがにげた」の絵本を読みました。どの子も興味深く読んでいたのですがみんなで読むには、小さめだったためじっくりと金魚をさがせていない子もいるなど感じました。そこで後日、どの場所からでも満足して読んでもらえたらと思い大型絵本を用意しました。その様子です。

きんぎょがにげて「どこかに隠れている」というストーリーが分かっているようでページを保育者がめくるたびに「ここ！」と指を指す子どもたち。中には、絵本のところまで来て指を指して教えてくれる子もいました。「見つけられた子は大喜び！友だちに教えてもらって気づくのも面白い！けれど、後ろの方に座っている子どもたちの羨ましそうにする表情を見て自分のタイミングで探したい子もいるのかもしれないな、、、」と思いました。そこで、後日、いつでも探せるようにきんぎょがにげたの絵本を絵本棚に用意したり壁面を飾ることにしました。子どもたちの反応が楽しみです♪



絵本読みが終わった後に、前に出てこれなかった子たちが絵本を見に来て指を指しにきていました。「前に出て指を指したかったんだね😊」



おった！と表情から伝わりますね



登園すると、いつもと違う壁面に気付いた子どもたち。じっと、きんぎょをみつめて指でさし、見つけたことを保育者へ知らせてくれました。保育者も子どもの見つけられた嬉しさや喜びに共感し「きんぎょさん、おったね！」ときんぎょ探しを一緒に楽しみました。また、絵本を取り出して「ん！」と指差して探す子もいてそれぞれが好きなタイミングで絵本に触れて楽しむ姿が見られました。



製作をしていると絵本を持って来てくれました。



「どこに逃げたかな？」とやりとりをしながら金魚を貼りました



今後も絵本を通して子どもたちと触れ合いやり取りを楽しめたらいいなと思っています。